



自ら学ぶ力を

アクティブ・ラーニングについて



ニングと言っている。教育委員
会では、深い学びができる、そ
んな授業改善に取り組んでいる。

議員

教育長が言われたような主体
的な活用の仕方ができない。例
えば我々は中学校、高校、大学
で英語を学ぶが、話せない。知
識として読む、書く、理解する、
これはできる。ところが話せない。
いざとなると活用できない。
活用というのは、これをベース
にして学び、会話する。社会通
念上というコミュニケーション、
カンバセーション、要するに英
会話、そういうものができない。
知識をどんどん吸収する、その
データベースをいかにして活用
し鍛えていくか、またスキルア
ップしていくか伺う。

教育長

常総ほつとサタデー教室は、
アクティブ・ラーニングかもし
れない。先生は教えない。子ど
もが勉強したいものを自主的に
持つてくる。未来をつくる子ど
もたちがコミュニケーションを
通して絆を深める情操教育に先
生方も力を入れている。

議員

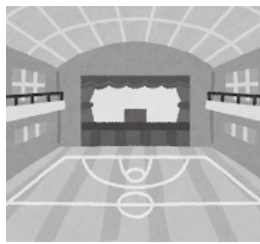
膨大な情報社会において、負
けずに生きていける子どもたち
を教育していただきたい。

□ 殿 園 問 JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI □ 殿 園 問



手数料は適正か

自治体が自治体でなくなる「公共施設等総合管理計画」批判



1年間通すと何万円にもなる。
これは即刻やめるべき。

総務部長

安心・安全な公共サービスを
提供し続けることは、自治体の
責務であり、そのためにも公共
施設総合管理計画に基づき、適
正な施設管理を行い、変化し続
ける社会情勢や市民ニーズに対
応し、持続可能な行政経営を行
っていくことが必要と考える。

議員

国の方針をなぞっているだけ
で、安心・安全なんていうのを
言っているが、受益者の問題は
地方財政計画にもうたわられて
ない。市の場合は受益の立場を
わざわざ入れている。公共サー
ビスというが、利用している人
利用していない人の区別をつく
るのは、間違いだろうと思う。

総務部長

公共施設を利用する人と利用
しない人の負担の均衡というこ
とを考え、受益者負担をお願い
している。

議員

もつと自治体の基本的な立場
に立って、住民の福祉を育てる
という形に立ち戻って考えるべ
きと思う。地方自治体の皆さん
としては残念だなというふうに
改めて思う。

中野 高一 議員

堀越 道男 議員